

青少年のインターネット利用環境実態調査結果について

平成 22 年 4 月
内 閣 府

1. 調査目的

青少年及びその保護者を対象として、インターネットの利用状況、フィルタリングの認知及び普及の状況並びにフィルタリングの改善ニーズ等を調査し、青少年インターネット環境整備法の実施状況のフォローアップのための基礎データを得る。

2. 調査設計

- 方法：調査員による個別面接方式
- 対象：①平成21年11月30日現在で、満10歳から満17歳までの青少年（2,000人）
②上記青少年の同居の保護者（2,000人）

3. ポイント

- ◆携帯電話は、小学生では約2割、中学生では5割弱、高校生では96%とほとんどが所有。(p3)
- ◆携帯電話のフィルタリングは、小学生では約6割、中学生では5割半ば、高校生では約4割が利用。(p17)
- ◆トラブルや問題行動等の経験では、携帯電話にフィルタリングを使っていない高校生は使っている高校生より経験率が高い。(p6)
- ◆フィルタリングの利用やペアレンタルコントロールでは、「学んだことがある保護者」が、「特に学んだことはない保護者」より多い。(p20、p16)
- ◆「家庭のルール」が有りは、携帯電話では約6割、パソコンでは約5割。(p8)
- ◆保護者が求める必要な取組は、「有害サイトへの規制強化」と「家庭の取組への支援」が多い。(p24)

4. 調査結果

(1) 青少年に対する調査結果

- インターネット利用状況(携帯電話) p3
 - 携帯電話の所有率は、小学生では約2割、中学生では5割弱、高校生では96%とほとんどが所有。そのうち、小学生の約8割、中高生のほとんどがインターネットを利用。
- インターネット利用状況(パソコン) p4
 - パソコンの使用率は、小学生及び高校生で約8割、中学生で約9割。そのうち、小学生の約7割、中学生の約8割、高校生の約9割がインターネットを利用。
- トラブルや問題行動等の経験 p5
 - 「チェーンメールが送られてきたことがある」は、中学生の約3割、高校生の約4割が経験。「自分が知らない人や、お店などからメールが来たことがある」、「プロフやゲームサイトで知り合った人とやりとりしたことがある」は、高校生の約2割が経験。
- トラブルや問題行動等の経験(フィルタリングの有無別) p6
 - 携帯電話のフィルタリングを使っていない高校生は、使っている高校生より、「チェーンメールが送られてきたことがある」で約11ポイント、「プロフなどに自分や他人の情報を書きこんだことがある」で約10ポイント多い。

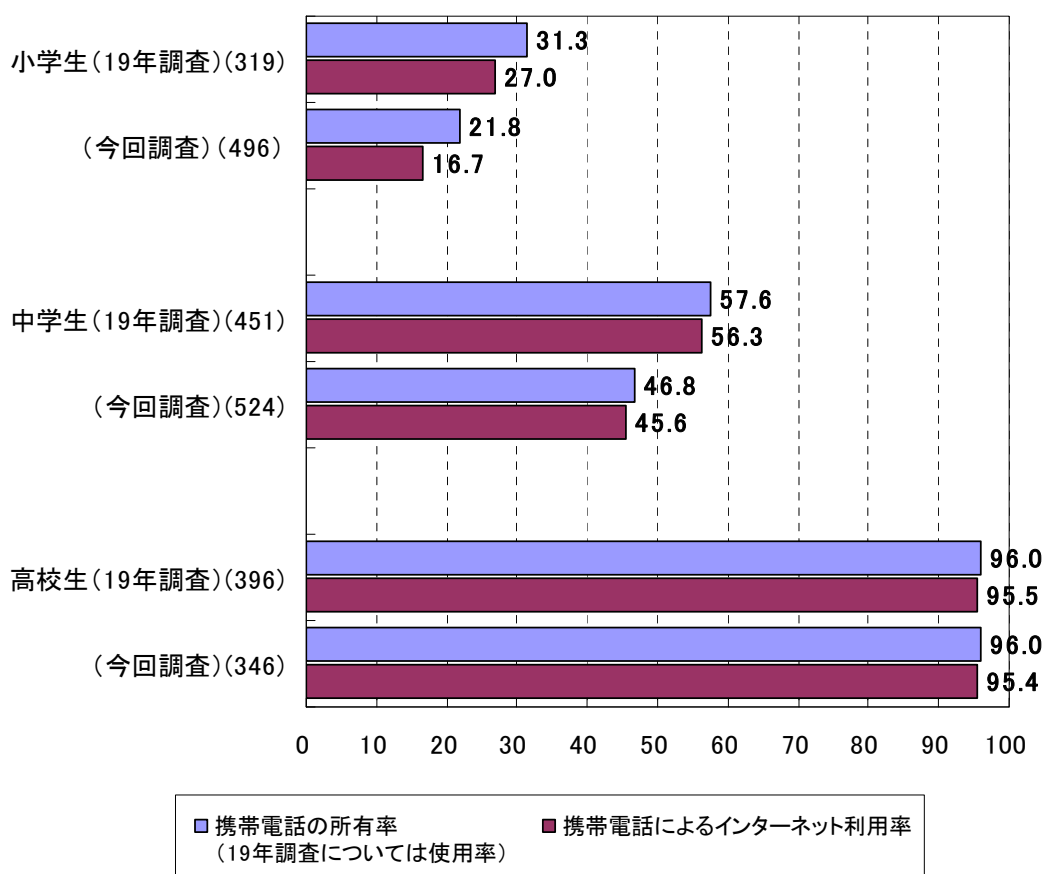
○トラブルや問題行動等の経験(親子のギャップ)	p7
➢ 高校生が経験したトラブル等と、親がそのトラブル等をどの程度認識しているかを比較すると、「チェーンメールが送られてきたことがある」では、親の認識の方が約12ポイント少なく、「プロフやゲームサイトで知り合った人とやりとりしたことがある」では、親の認識の方が約8ポイント少ない。	
○「家庭のルール」の有無	p8
➢ 携帯電話の「ルールを決めている」家庭は約6割、「特にルールを決めていない」家庭は約4割。	
➢ パソコンの「ルールを決めている」家庭と「特にルールを決めていない」家庭はほぼ半々。	
○「家庭のルール」(携帯電話)の有無(学校種別)	p9
➢ ルールを決めている家庭は、小学生では約6割、中学生では約7割、高校生では約5割。	
○「家庭のルール」(パソコン)の有無(学校種別)	p10
➢ ルールを決めている家庭は、小中学生では5割を超えているが、高校生では4割弱。	
○「家庭のルール」の有無(親子のギャップ)	p11
➢ 「家庭のルール」について親子間で比較してみると、いずれのルールも子どもより親の回答が多く、双方の認識に差がある。	
○フィルタリングの印象(フィルタリングの有無別)	p12
➢ 「有害サイトにアクセスすることがないので安心できる」は、いずれの学校種でも、フィルタリングを使っている青少年が、フィルタリングを使っていない青少年よりも多い。	
➢ 「インターネットが使いにくくなる」はいずれの学校種でも、フィルタリングを使っていない青少年が、フィルタリングを使っている青少年よりも多い。	
(2) 保護者に対する調査結果	
○保護者の管理(ペアレンタルコントロール)	p15
➢ 注意を払っていることとして、「家庭のルールづくり」をあげた保護者は、小中学生の保護者では45%前後、高校生の保護者では約27%と差が大きい。	
○保護者の管理(保護者の学習経験の有無別)	p16
➢ 携帯電話やパソコンを使用することについて注意を払っていることは、いずれの項目においても、「学んだことがある保護者」が、「特に学んだことはない保護者」より多い。	
○フィルタリングの利用	p17
➢ 携帯電話のフィルタリング利用率(「インターネットが使えない機種・設定」を含む。)は、小学生で約6割、中学生で5割半ば、高校生で約4割。パソコンでは、小学生で約4割、中学生で約3割、高校生で約2割。	
○フィルタリングの利用(携帯電話の購入時期別)	p18
➢ 携帯電話の購入時期でみると、平成19年度以前は約4割、20年度は約6割、21年度は5割半ば。	
○フィルタリングに関する販売業者からの説明の有無(携帯電話の購入時期別)	p19
➢ 販売業者に対して「子どもが使用する」旨を申し出た保護者について、携帯電話の購入時期でみると、平成19年度以前では約5割、20年度は約8割、21年度は7割半ば。	
○フィルタリングの利用(保護者の学習経験の有無別)	p20
➢ 「学んだことがある保護者」が、「特に学んだことはない保護者」よりフィルタリングの利用率が高い。	
○フィルタリングを利用しない理由	p21
➢ 携帯電話のフィルタリングを利用しない理由は、「子どもを信用している」が最も多い。	
➢ パソコンでは、「親がいるところで使っているので必要ない」、「家族で使っているのでそこまで考えなかった」が多い。	
○携帯電話やパソコンの危険性についての学習経験	p23
➢ 学校を通じて啓発を受けたという回答が、小学生より中高生の保護者で多い。	
○子どものために必要な取組	p24
➢ 「有害サイトへの規制を強化する」と「家庭における取組を支援する」が約6割と、他の取組よりも多い。	

携帯電話で、インターネットを利用していますか

○携帯電話の所有率は、小学生では約2割、中学生では5割弱、高校生では96%とほとんどが所有。そのうち、小学生の約8割、中高生のほとんどがインターネット(メールを含む。以下同じ)を利用。

○携帯電話の所有率につき「19年調査」の調査結果(携帯電話の使用率)と比較すると*、小中学生で1割程度低く、高校生では同水準。

携帯電話の所有率とインターネット利用率(%)



* 「19年調査」(内閣府「第5回情報化社会と青少年に関する意識調査」(平成19年12月公表))については、満10歳から満17歳までの青少年(平成18年4月1日現在)2,000人による携帯電話・PHSの使用開始時期に対する回答から使用率を算出。

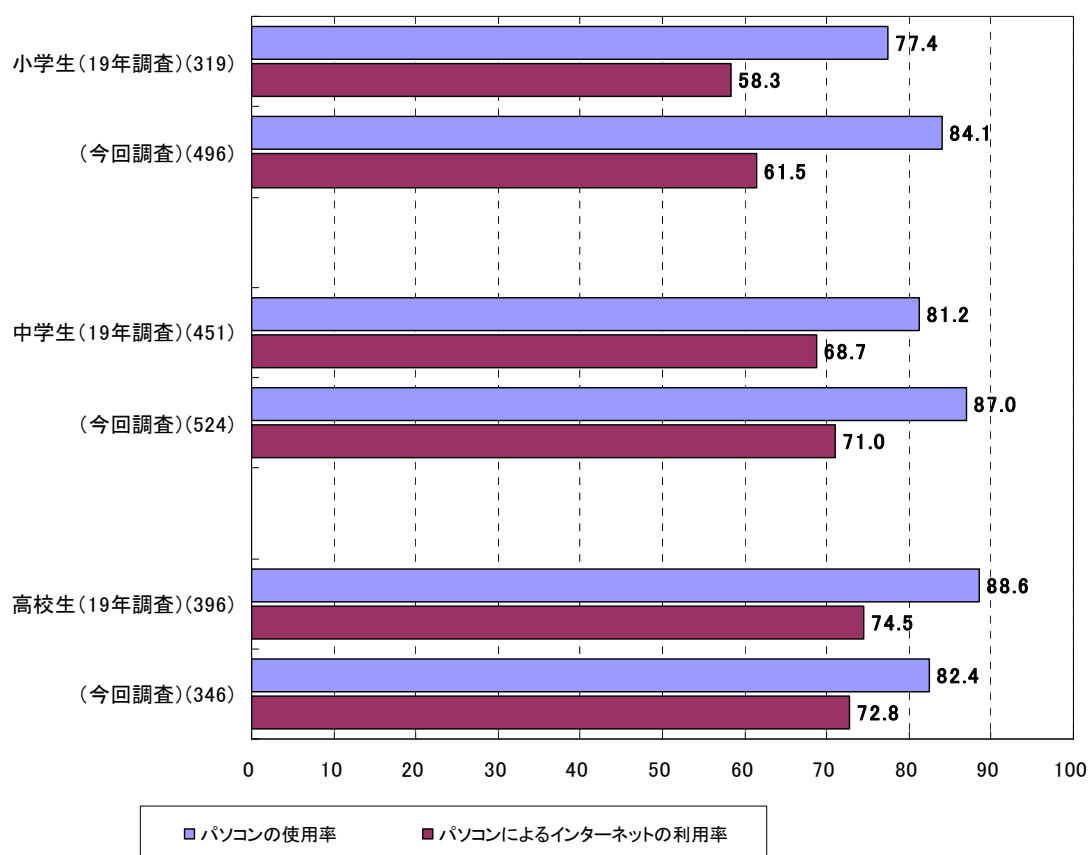
<青少年に対する調査>

パソコンで、インターネットを利用していますか

○パソコンの使用率は、小学生と高校生で約8割、中学生で約9割。そのうち、小学生の約7割、中学生の約8割、高校生の約9割がインターネットを利用。

○パソコンの使用率につき「19年調査」の調査結果と比較すると*、小中学生で上昇傾向であるが、高校生では逆に低下傾向。

パソコンの使用率とインターネット利用率(%)

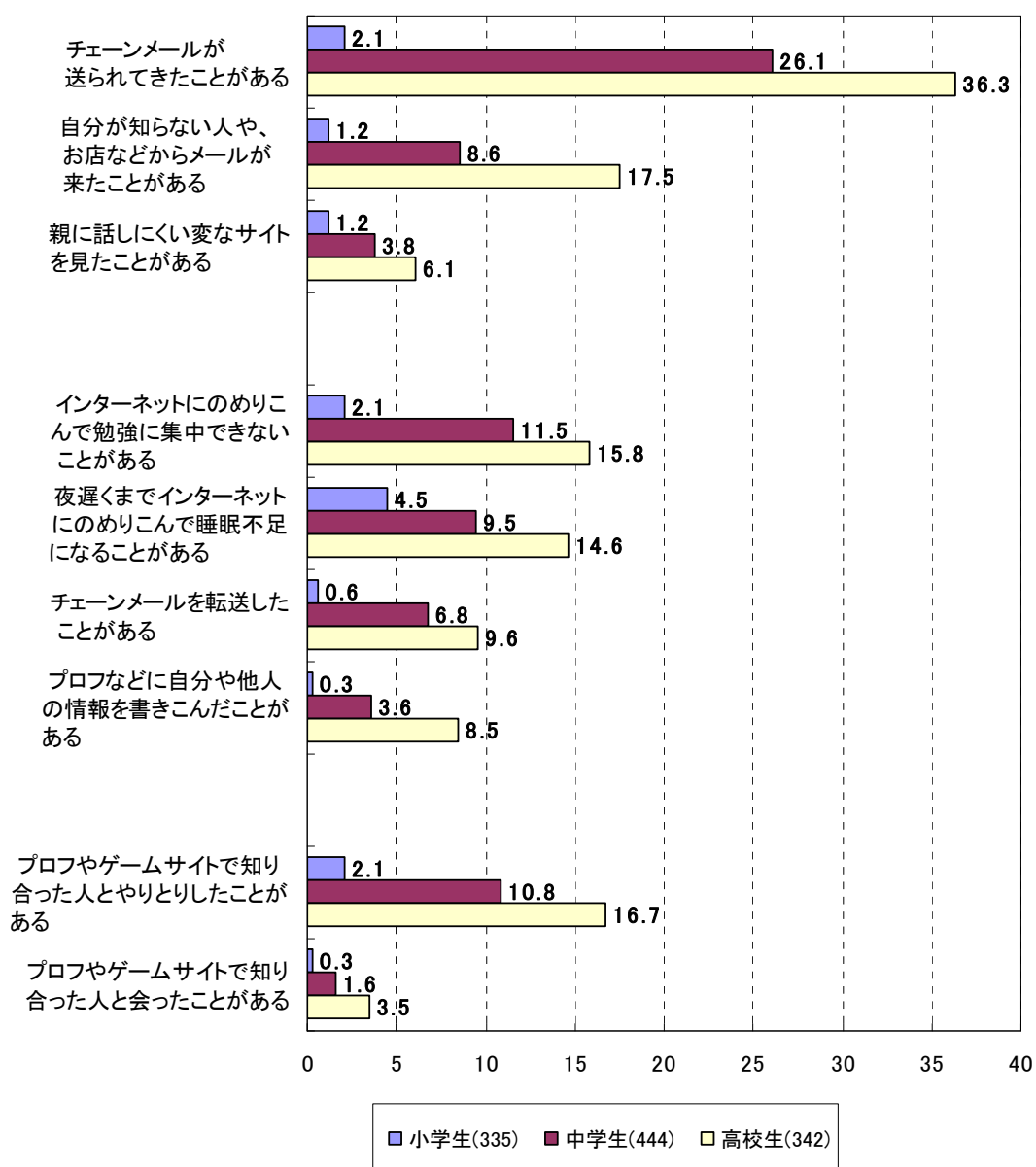


* 「19年調査」については、満10歳から満17歳までの青少年（平成18年4月1日現在）2,000人によるパソコンの使用開始時期に対する回答から使用率を算出。

インターネットを使って、どのような経験がありますか

○「チェーンメールが送られてきたことがある」は、小学生では経験者はほとんどいないが、中学生では3割弱、高校生では4割弱が経験。「自分が知らない人や、お店などからメールが来たことがある」、「プロフやゲームサイトで知り合った人とやりとりしたことがある」は、高校生の約2割が経験。

青少年が経験したトラブル等(%) 複数回答

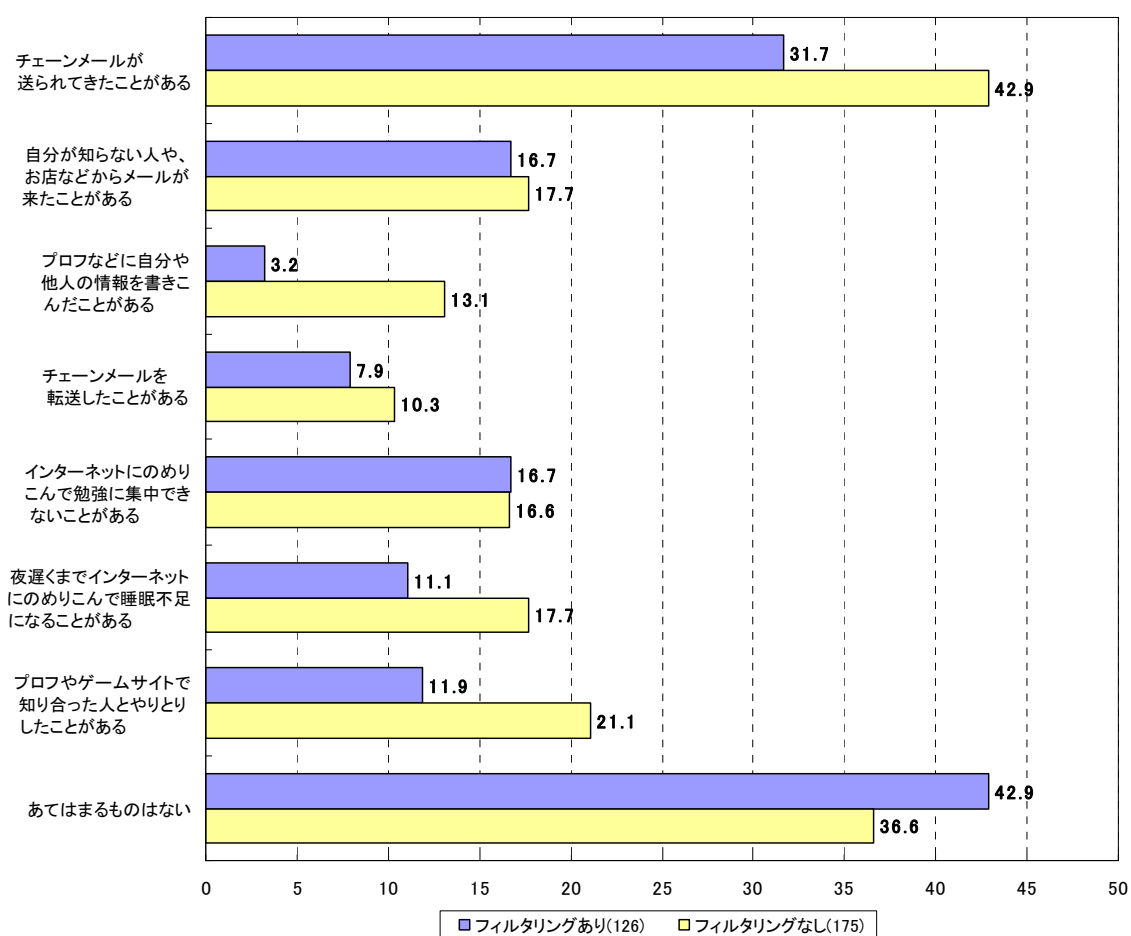


<青少年に対する調査>

インターネットを使って、どのような経験がありますか
(携帯電話のフィルタリングの有無別)

○携帯電話のフィルタリングを使っていない高校生は、フィルタリングを使っている高校生より、「チェーンメールが送られてきたことがある」で約 11 ポイント、「プロフなどに自分や他人の情報を書きこんだことがある」で約 10 ポイント多い。

高校生が経験したトラブルや問題行動(フィルタリングの有無別)(%) 複数回答



<青少年・保護者に対する調査>

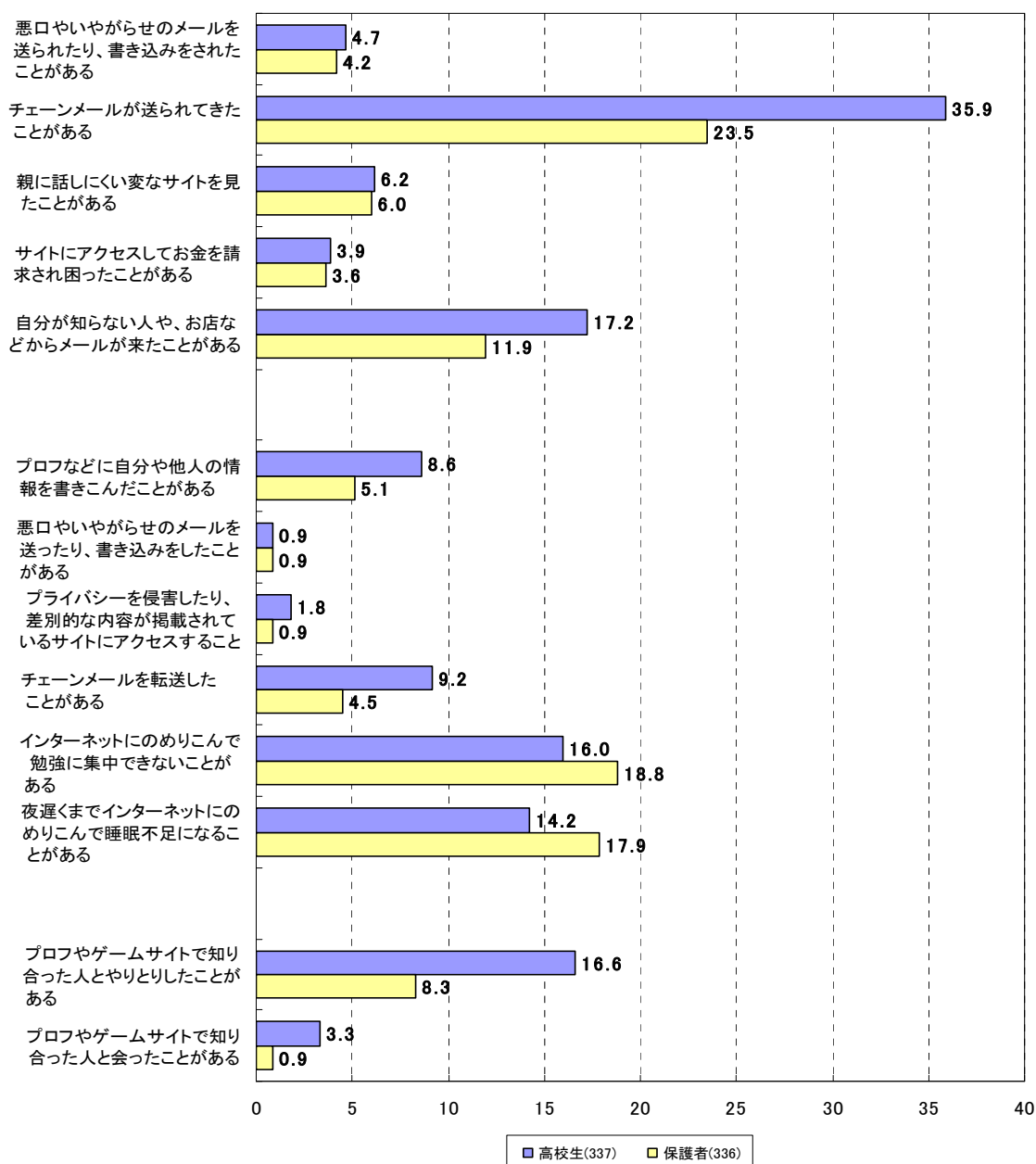
○インターネットを使って、どのような経験がありますか(子)

○自分の子どもが経験していると思いますか(親)

(親子のギャップ)

○高校生が経験したインターネット上のトラブル等と、保護者が子どものトラブル等をどの程度認識しているかを比較すると、「チェーンメールが送られてきたことがある」では、保護者の認識の方が約12ポイント少なく、「プロフやゲームサイトで知り合った人とやりとりしたことがある」では、保護者の認識の方が約8ポイント少ない。

高校生のトラブル等の経験(親子間の比較)(%) 複数回答



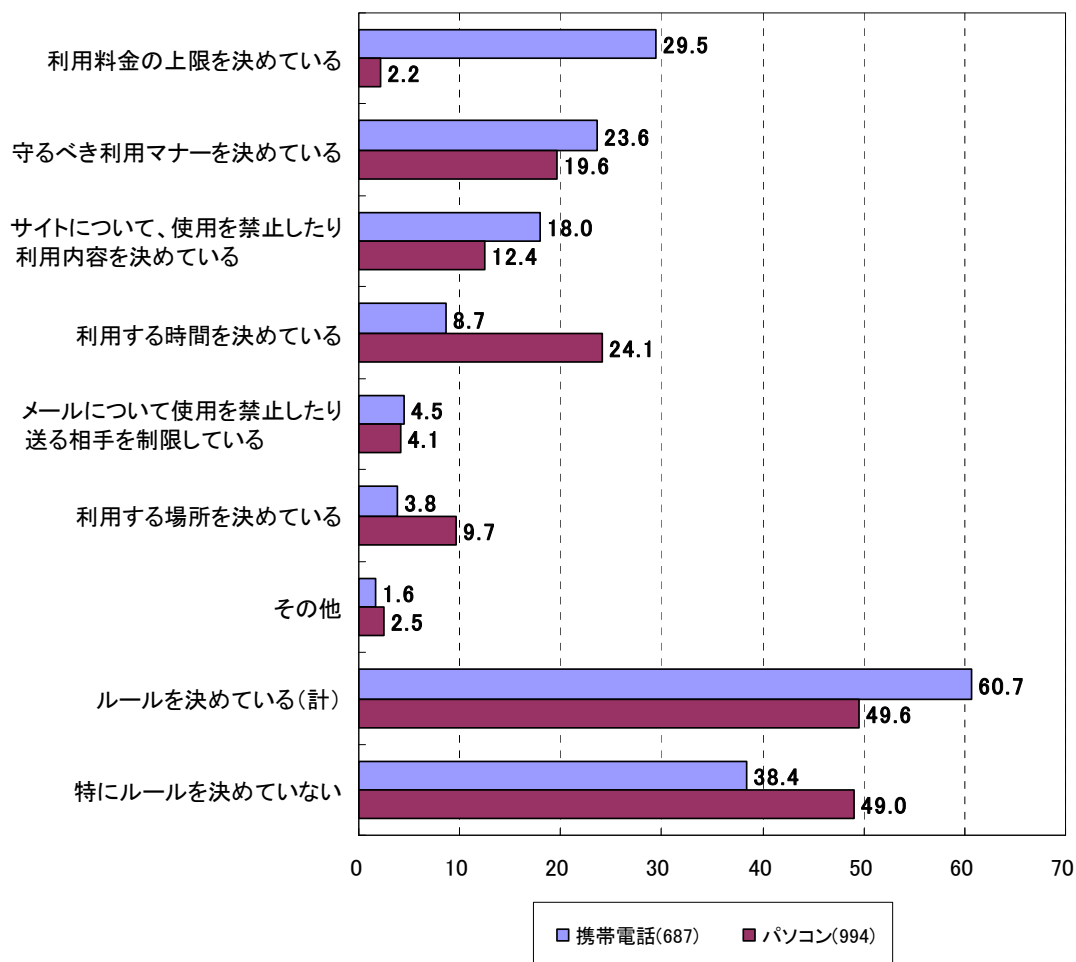
<青少年に対する調査>

「家庭のルール」はありますか

○携帯電話の「ルールを決めている」家庭は約6割、「特にルールを決めていない」家庭は約4割。決められているルールの中では、「利用料金の上限を決めている」が約3割で最も多い。

○パソコンの「ルールを決めている」家庭と「特にルールを決めていない」家庭はほぼ半々。ルールの中では「利用する時間を決めている」が約2割で最も多い。

家庭でのルールづくり(%) 複数回答

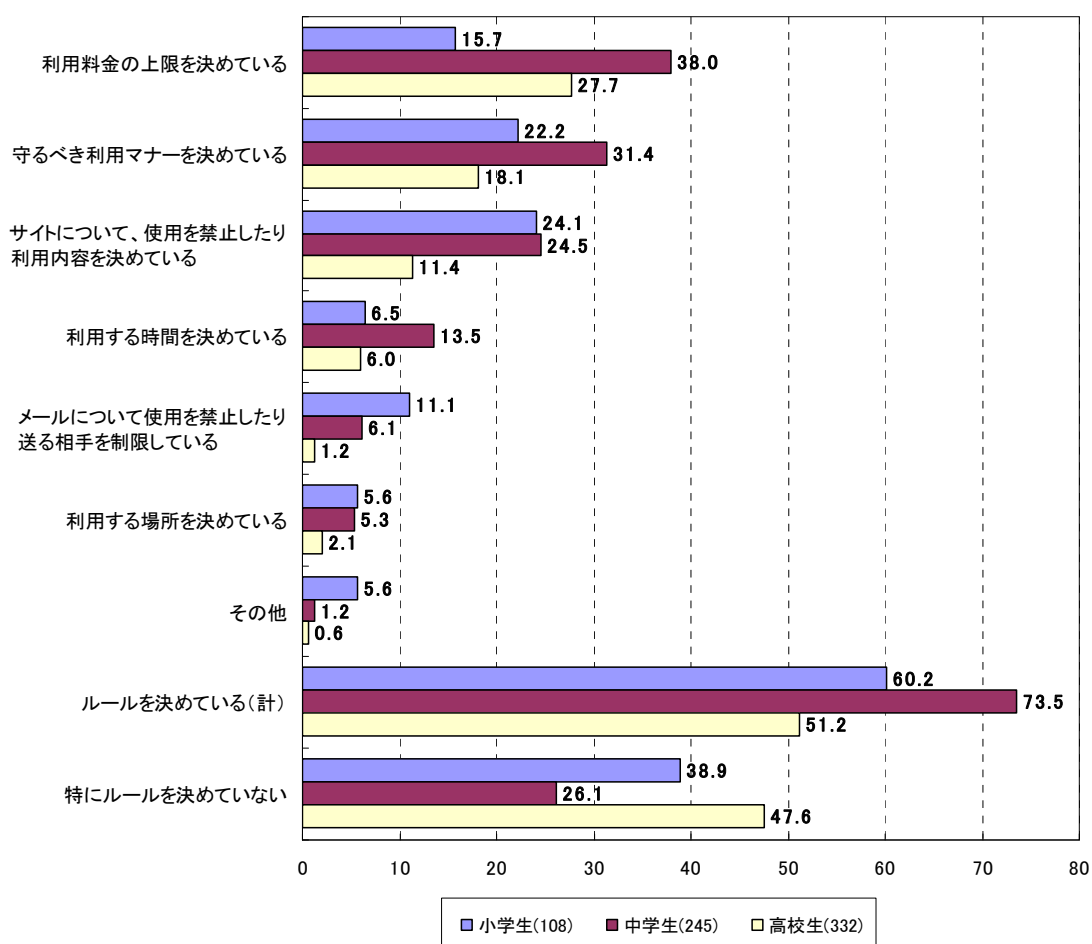


<青少年に対する調査>

「携帯電話のルール」はありますか

○なんらかのルールを決めている家庭は、小学生では約6割、中学生では約7割、高校生では約5割。特に、中学生では「利用料金の上限を決めている」、「守るべき利用マナーを決めている」、「利用する時間を決めている」の3つのルールで、小学生や高校生より多い。

家庭のルール(携帯電話)(%) 複数回答

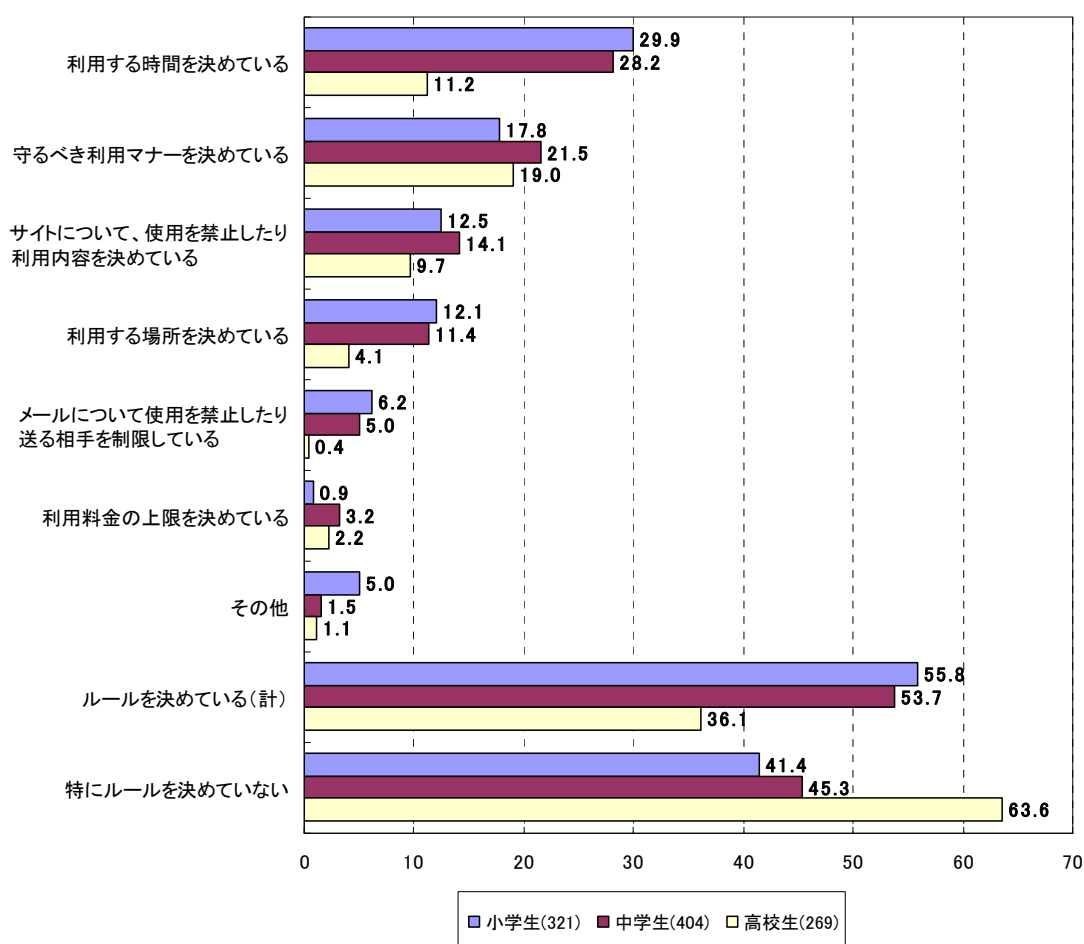


<青少年に対する調査>

「パソコンのルール」はありますか

○なんらかのルールを決めている家庭は、小中学生では5割を超えているが、高校生では4割弱。ルールの中では、「利用する時間を決めている」は学校種が下がるほど多く、高校生では約1割に過ぎないが、小中学生では約3割。

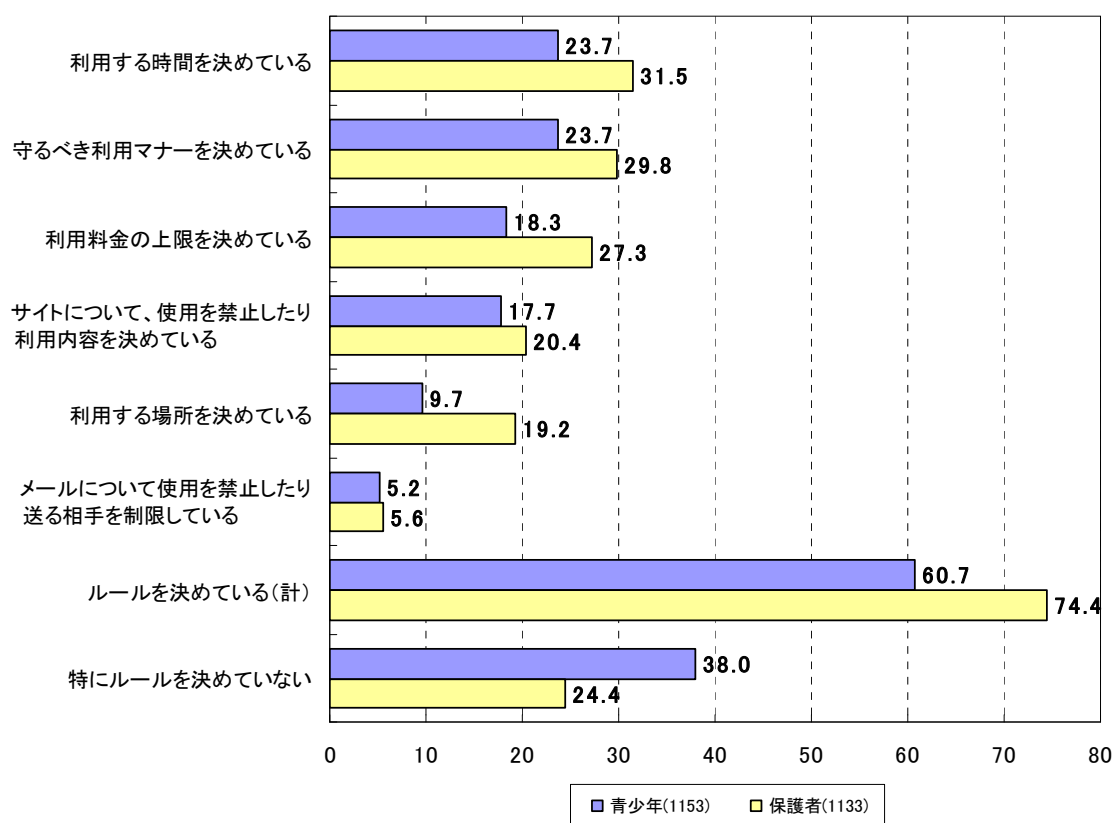
家庭のルール(パソコン)(%) 複数回答



「家庭のルール」を決めていますか(親子のギャップ)

○「家庭のルール」について親子間で比較してみると、いずれのルールも子どもより親の回答が多く、双方の認識に差がある。

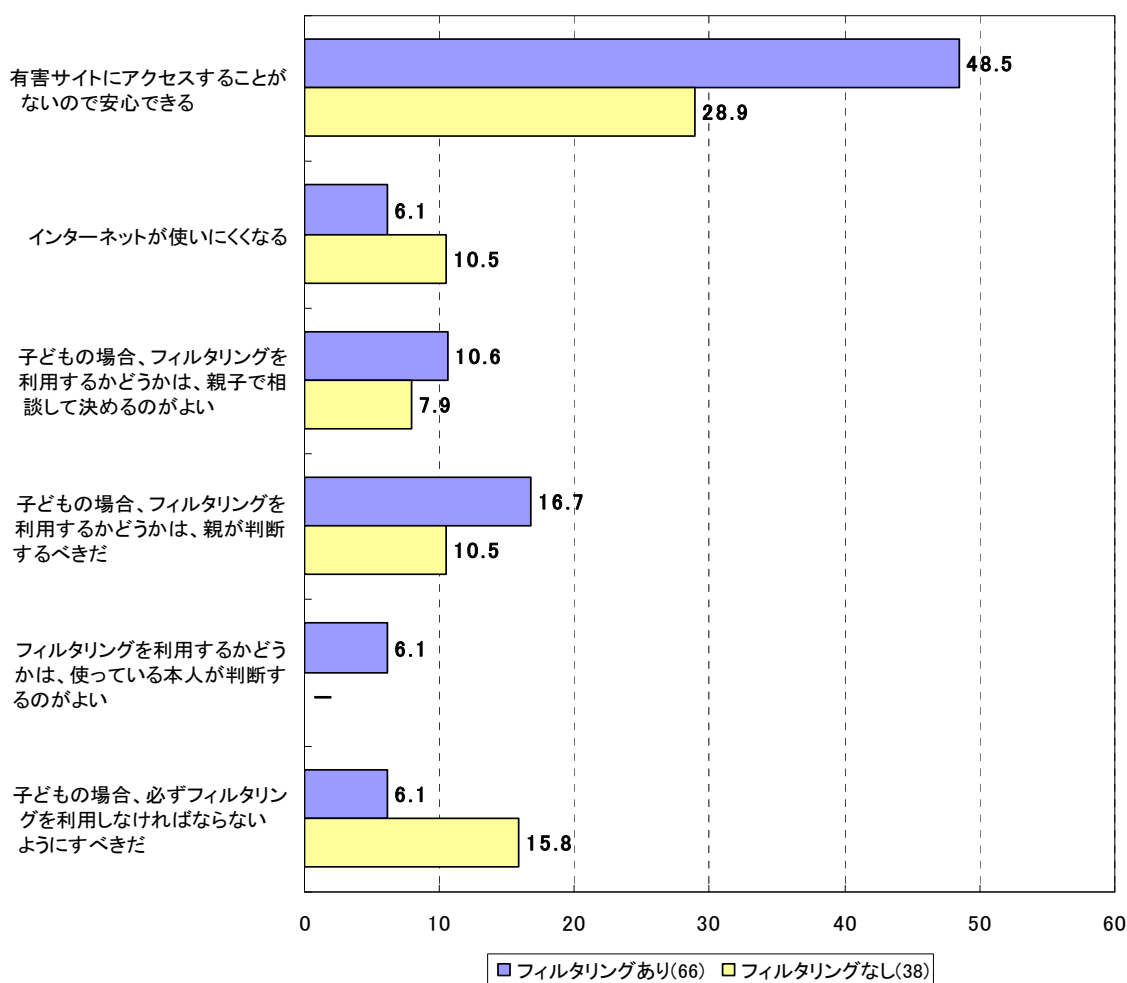
「家庭のルール」の認識(親子間の比較)(%) 複数回答



フィルタリングについて、どのように感じますか
(フィルタリングの有無別)

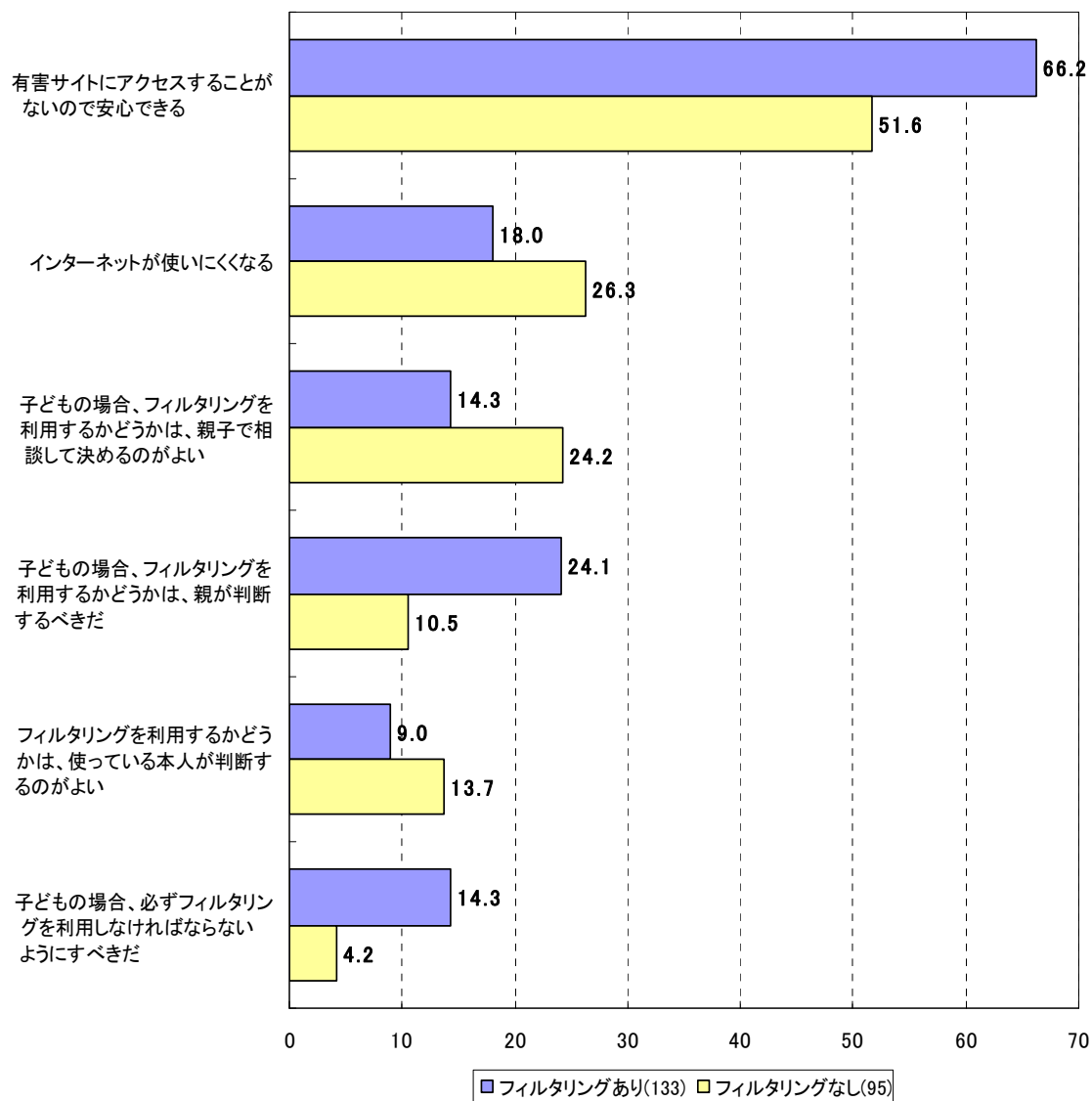
- 「有害サイトにアクセスすることがないので安心できる」は、いずれの学校種でもフィルタリングを使っている青少年の方が、フィルタリングを使っていない青少年よりも多い。最も多いのは中学生だが、フィルタリングの有無で最も差が開いているのは小学生(約20ポイントの差)。
- 「インターネットが使いにくくなる」はいずれの学校種でも、フィルタリングを使っている青少年よりもフィルタリングを使っていない青少年の方が多くなり、学校種が上がるほど差が広がっている。

フィルタリングの印象(小学生)(%) 複数回答



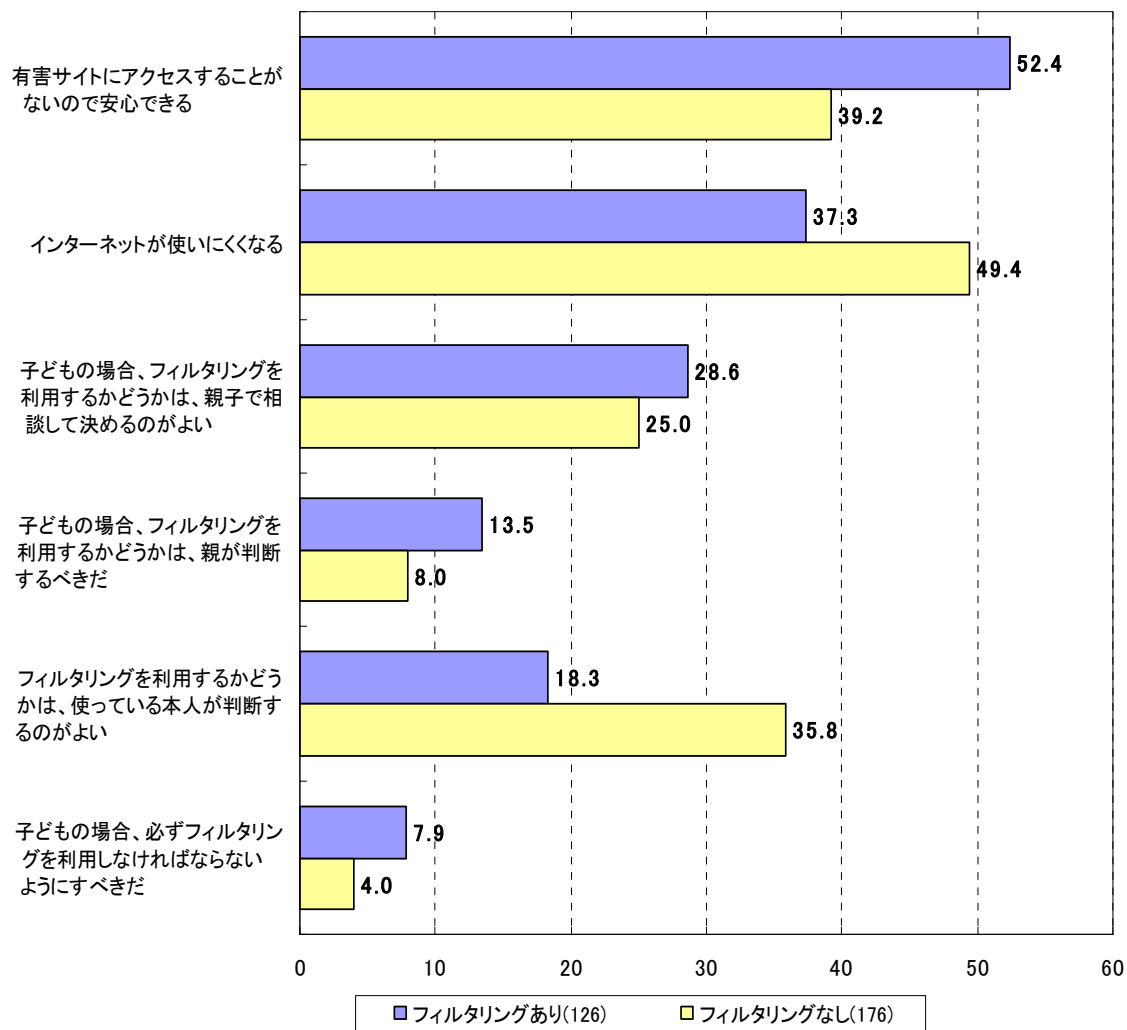
＜青少年に対する調査＞

フィルタリングの印象(中学生)(%) 複数回答



<青少年に対する調査>

フィルタリングの印象(高校生)(%) 複数回答

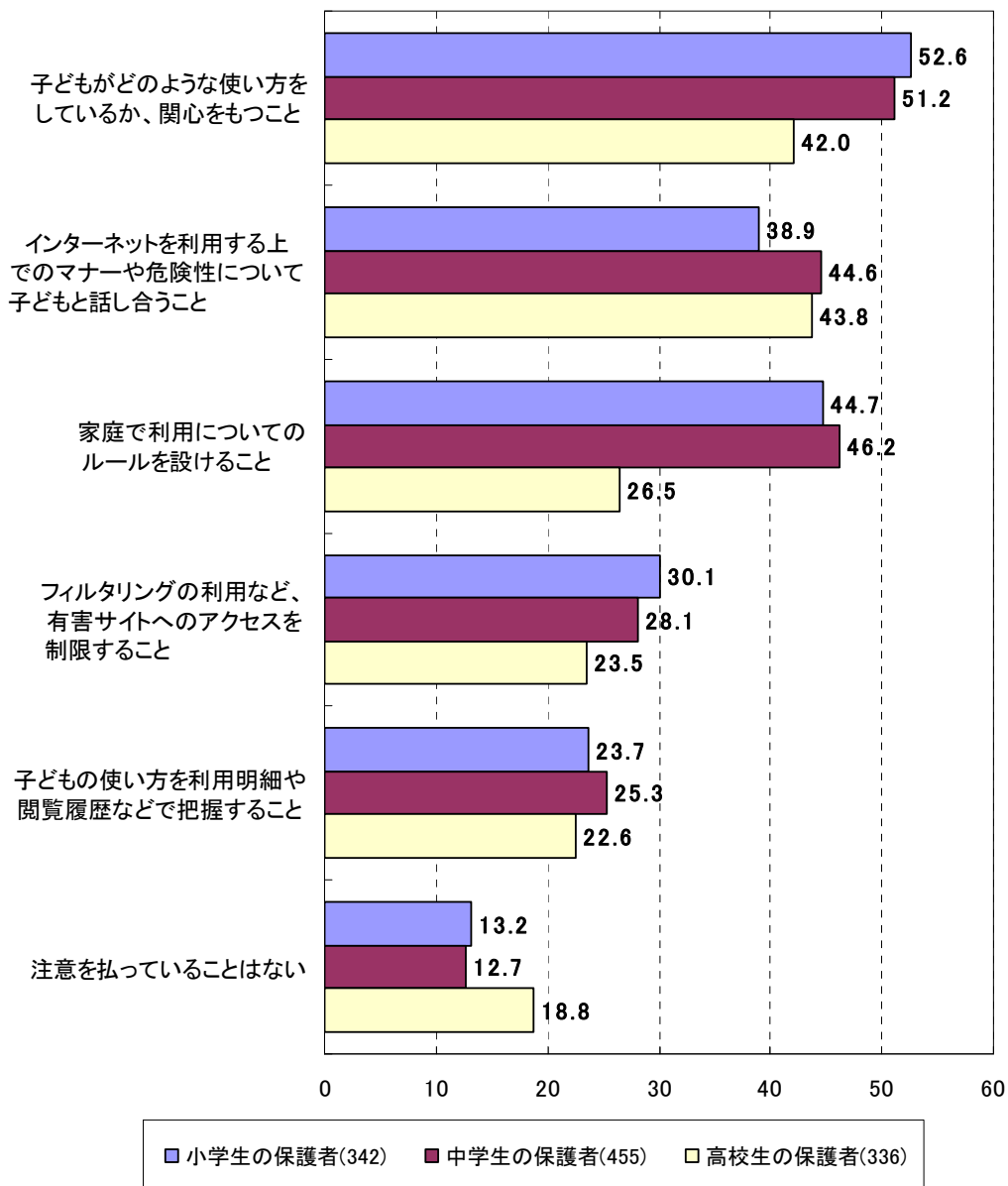


<保護者に対する調査>

子どものために、どのようなことに注意を払っていますか

○「家庭でのルールづくり」をあげた保護者は、小中学生の保護者では 45%前後、高校生の保護者では約 27%と差が大きい。

保護者による子どもの管理(%) 複数回答



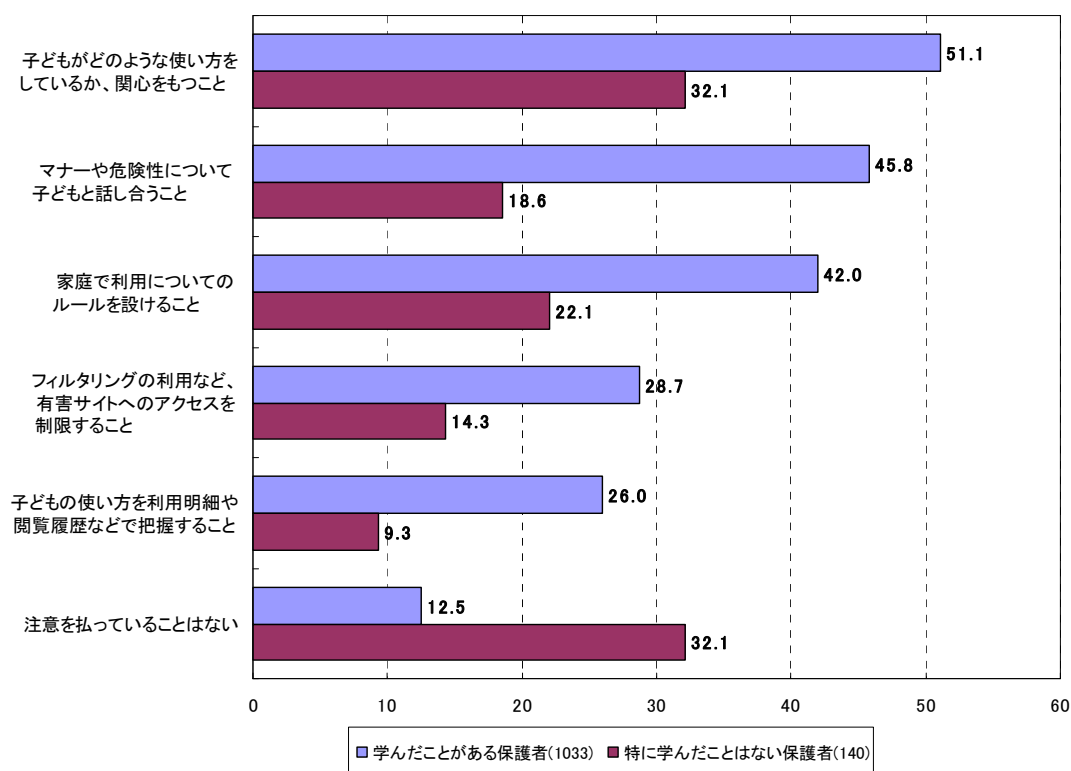
<保護者に対する調査>

子どものために、どのようなことに注意を払っていますか

(親の学習経験の有無別)

○携帯電話やパソコンを使用することについて注意を払っていることは、いずれの項目においても、「学んだことがある保護者」が、「特に学んだことはない保護者」より多い。特に、「マナーや危険性について子どもと話し合うこと」での差が大きい(約 27 ポイントの開き)。

保護者による子どもの管理(保護者における学習経験の有無別)(%) 複数回答

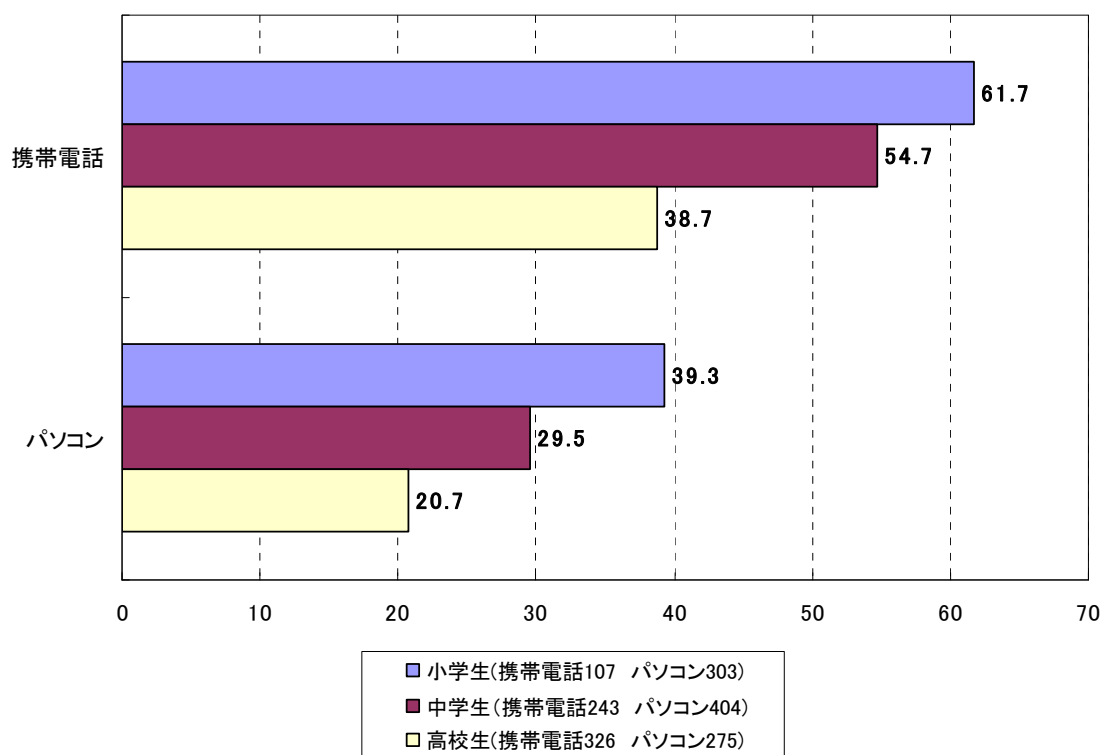


<保護者に対する調査>

フィルタリングを利用していますか

○携帯電話のフィルタリング利用率(「インターネットが使えない機種・設定」を含む。以下同じ。)は、小学生で約6割、中学生で5割半ば、高校生で約4割。パソコンでは、小学生で約4割、中学生で約3割、高校生で約2割。

フィルタリングの利用率(%)

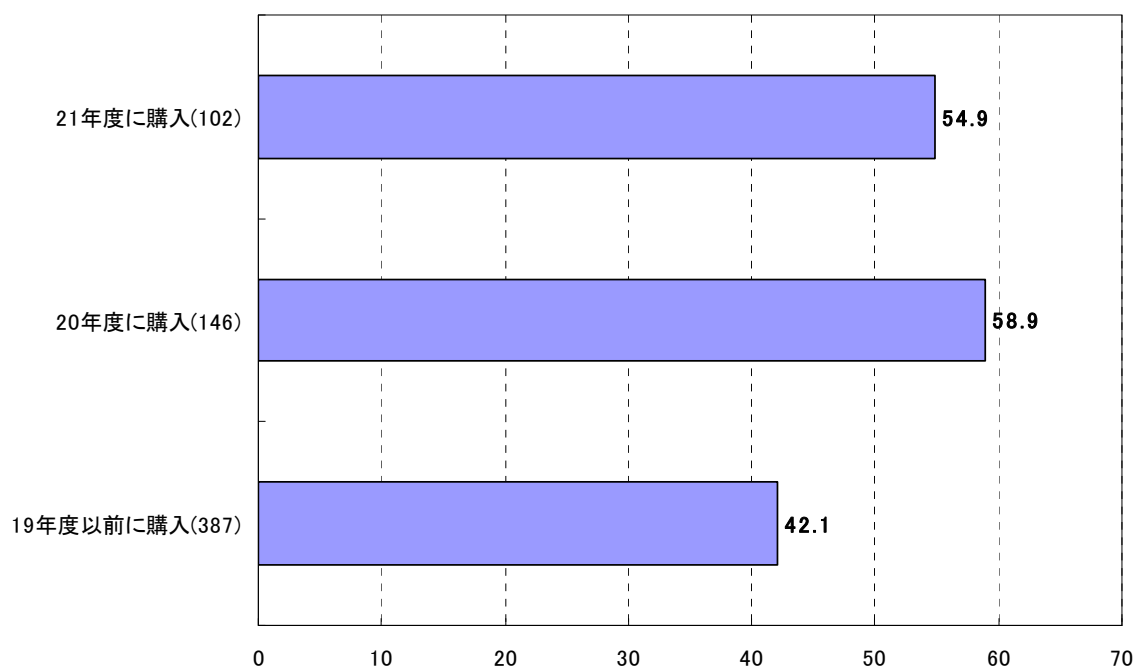


<保護者に対する調査>

フィルタリングを利用していますか
(携帯電話の購入時期別)

○携帯電話の購入時期で見ると、平成19年度以前は約4割、20年度は約6割、21年度は5割半ば。

携帯電話のフィルタリング利用率(%)

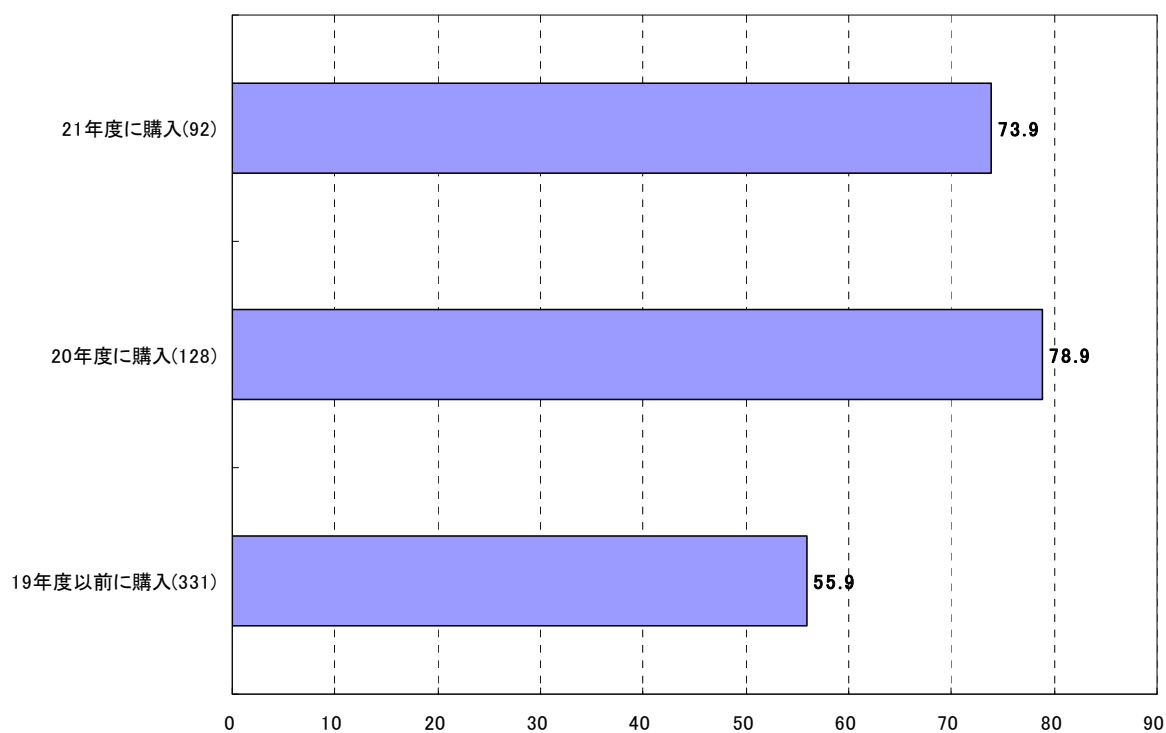


<保護者に対する調査>

販売業者から、フィルタリングに関する説明がありましたか
(携帯電話の購入時期別)

○販売業者に対して「子どもが使用する」旨を申し出た保護者について、携帯電話の購入時期で見ると、平成19年度以前では約5割、20年度は約8割、21年度は7割半ば。

子どもの使用を申し出た保護者に対する販売業者の説明の有無(%)

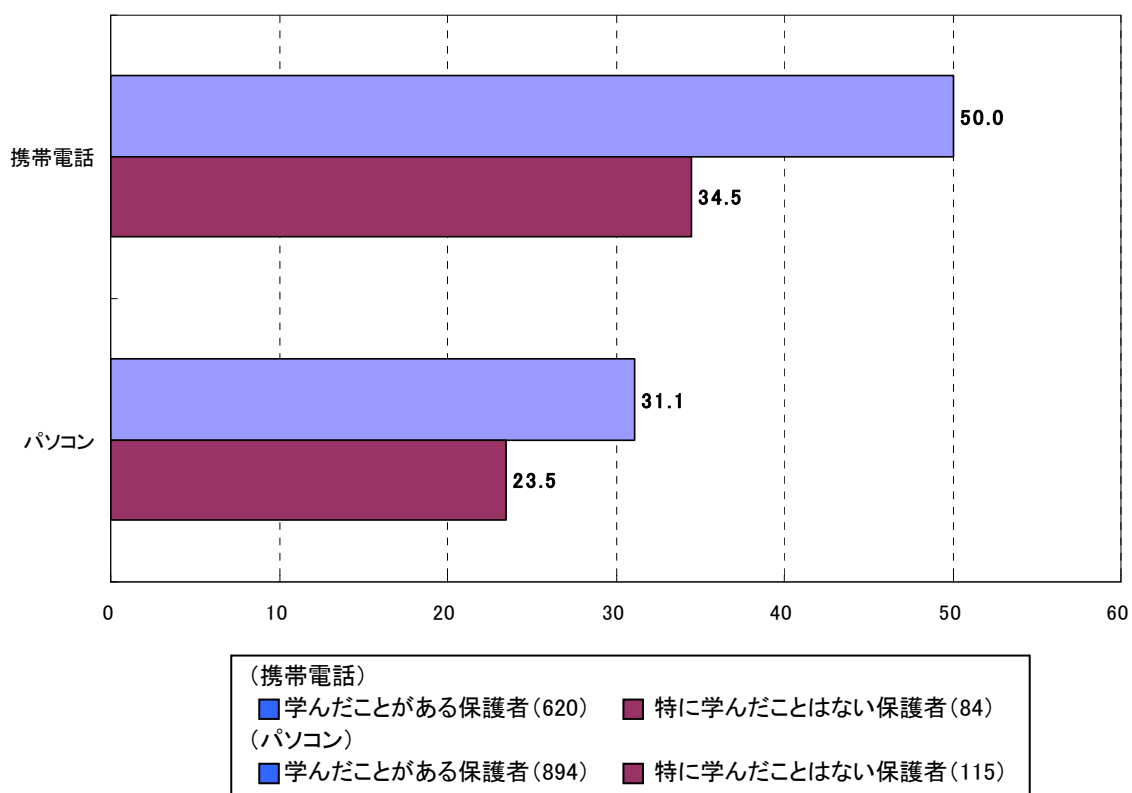


<保護者に対する調査>

フィルタリングを利用していますか
(親の学習経験の有無別)

○携帯電話とパソコンのいずれにおいても、「学んだことがある保護者」が、「特に学んだことはない保護者」よりフィルタリングの利用率が高い。

フィルタリングの利用率(保護者における学習経験の有無別)(%)

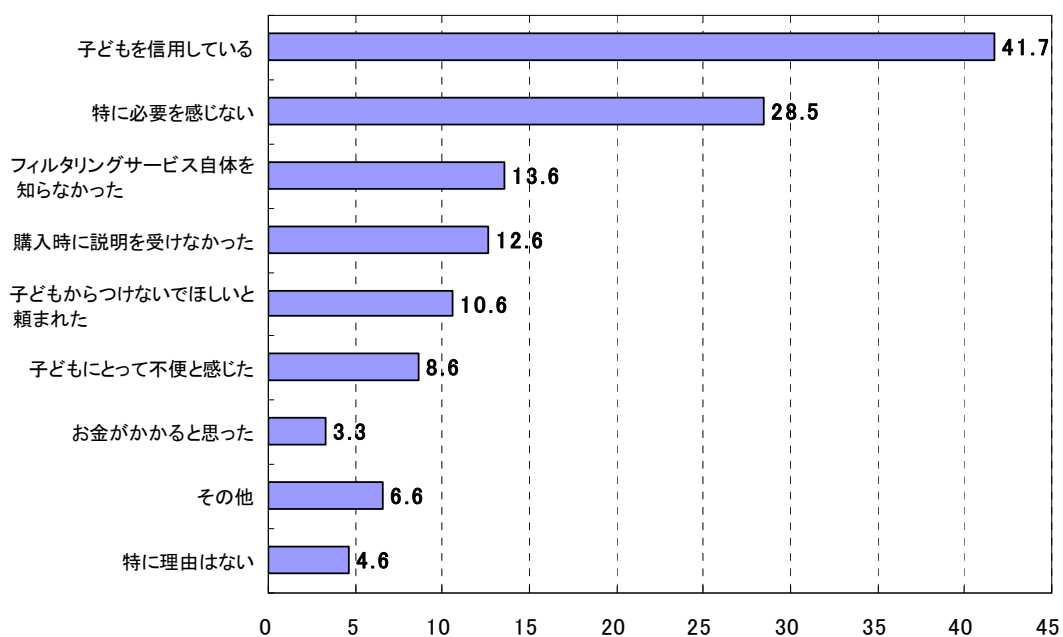


<保護者に対する調査>

携帯電話にフィルタリングを利用しないのはなぜですか

○「子どもを信用している」が最も多く、次いで「特に必要を感じない」が多い。

フィルタリングを利用していない理由(%) 複数回答

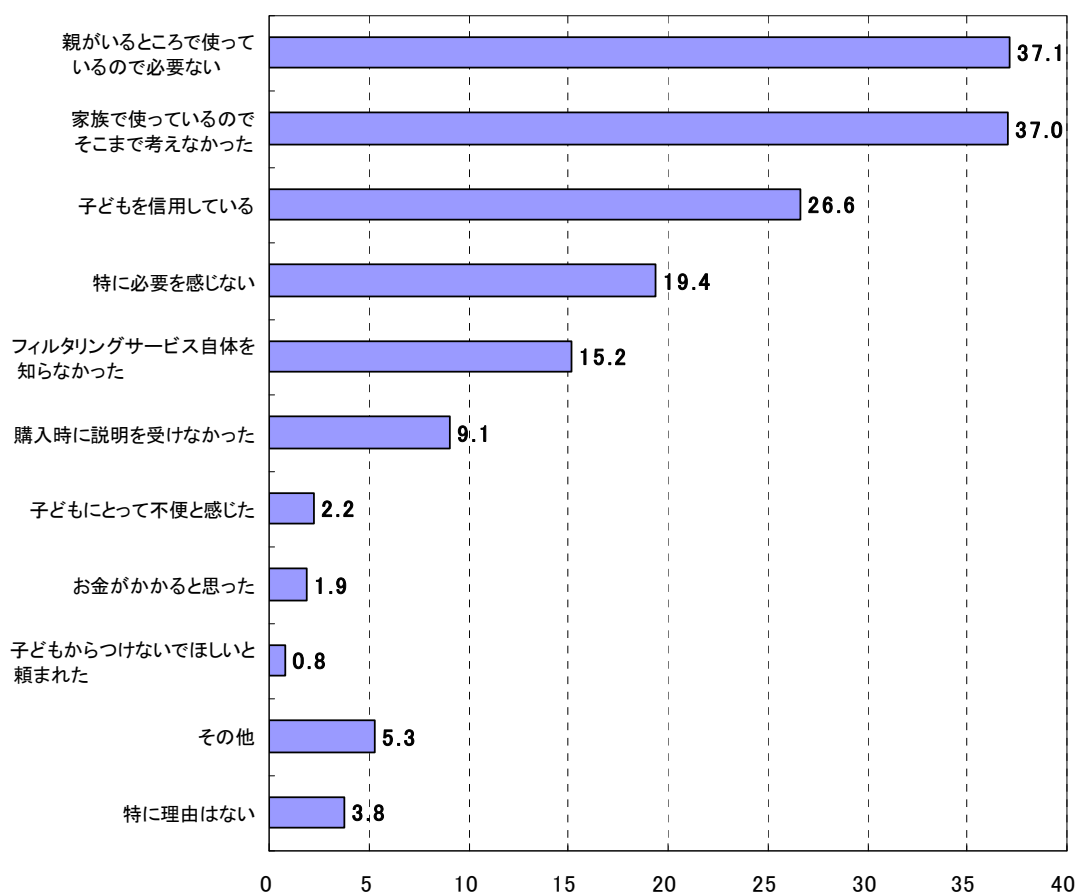


<保護者に対する調査>

パソコンにフィルタリングを利用しないのはなぜですか

○「親がいるところで使っているので必要ない」、「家族で使っているのでそこまで考えなかった」が多い。

フィルタリングを利用していない理由(%) 複数回答

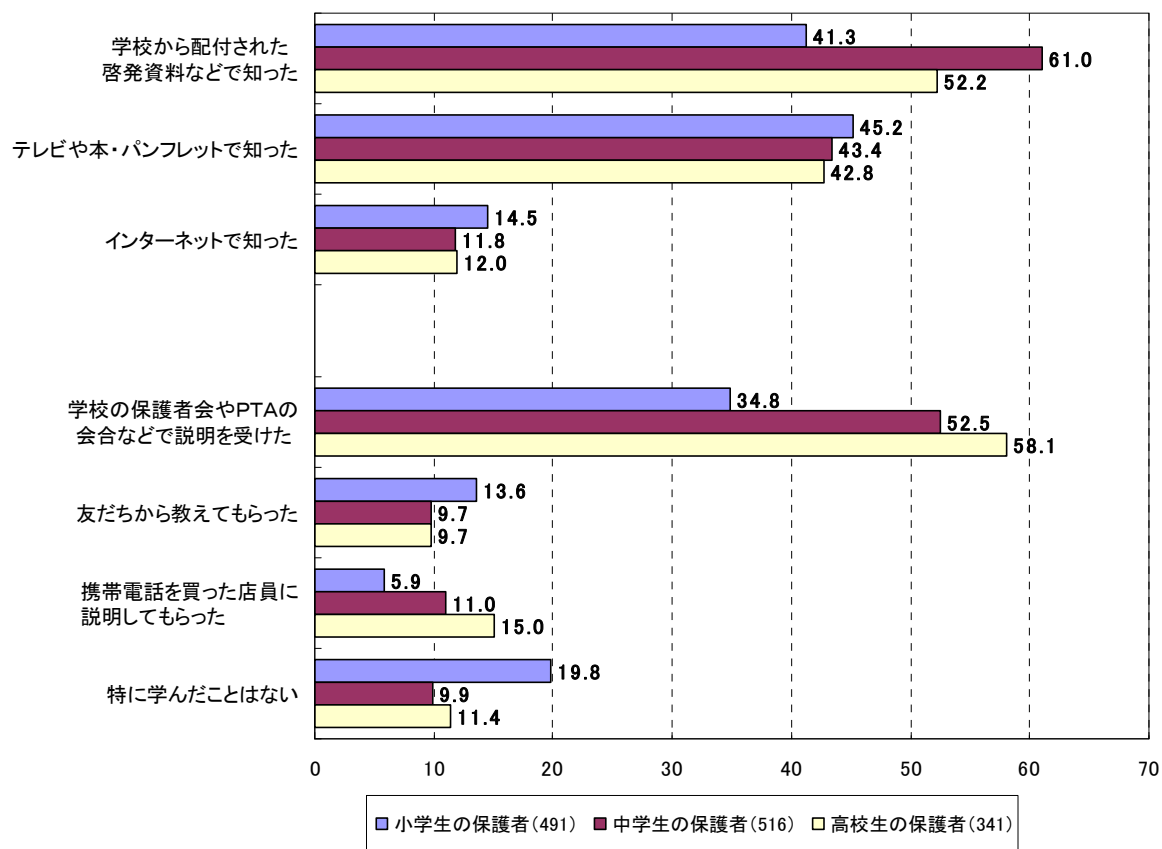


<保護者に対する調査>

携帯電話やパソコンの危険性について、説明を受けたり学んだりしたことはありますか

○学校を通じて啓発を受けたという回答(「学校から配布された啓発資料などで知った」、「学校の保護者会やPTAの会合などで説明を受けた」)は、小学生より中高生の保護者が多い。

インターネットに関する啓発・学習の経験(%) 複数回答



<保護者に対する調査>

子どものために、どのような取組が必要だと思いますか

○「有害サイトへの規制を強化する」と「家庭における取組を支援する」が約6割と、他の取組よりも多い。

子どものインターネット利用に必要な取組(%) 複数回答

